

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	2015年
コーポラティブハウス部会	1月22日(木)
団地・マンション再生部会	1月26日(月)
人と暮らし部会	1月21日(水)
総務部会	1月15日(木)
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆プロジェクトニュース☆

- ・コーポラティブハウス羽根木公園  
11月30日に引渡し会を行います。
- ・ジークレフ駒場マンション建替え  
12月初旬上棟予定。

都市住宅とまちづくり研究会  
Facebook 立ち上げました！！

これまで検討はしていたものの、なかなか実現しなかったのですが、ようやくとしまち研もFacebookを立ち上げることにになりました。

すでに個人のアカウントをお持ちの方は、「としまち研」で検索してみてください。

これからFacebookをやってみようと思っ  
たら、アカウントの取り方のわからない方は、お手伝いしますので、事務局までご連絡ください。

「おいらのまち 11月号」発行時期より本格稼働の予定です。ぜひ、情報収集の場としてご活用ください。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

- 借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
- お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。

というような難しいご相談も検討します。  
お気軽にご相談ください。

編集後記

今年も残るところあと1ヵ月となってしまいました。

今年は、COMS HOUSEが大規模修繕の検討を始めたこと、KTハウスからは電気関係の不具合についての相談、K-HAUSからは屋上防水の不具合について相談があったことなど、10年を経過した建物が増え、そろそろメンテナンスが必要な時期になったのではないのでしょうか。

そして来年、としまち研は15周年を迎えます。5年目には本を出版し、10年目には記念パーティを開催したとしまち研。“15周年も何かやります！”(これから検討します) (事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員 62人 賛助会員 35人  
編集発行人 平石郁夫  
事務局担当 飛澤玲奈

としまち研会報 第72号

おいらのまち

2014.11

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

被災者主体の新しいまちづくり

11月14日(金)、東松島市あおい地区の第I期災害公営住宅47世帯があおい地区全580世帯の第1陣として鍵の引渡しを受け、入居を開始しました。

東日本大震災が発生した2011年12月5・6日に、バスを仕立て、としまち研関係者14名で東松島市の被災状況の調査と東松島市訪問に始まり、復興支援業務の提案、翌年1月5日付で、としまち研と東松島市との復興支援に関する基本協定を締結。協定に基づき、4～6月に被災世帯の約28%に当たる650世帯の被災世帯意向調査を行いました。まずは文書で、そして電話をして市役所に来てもらい意向調査を…。しかし、連絡の取れない世帯が多くあったので、車でお住まいを訪問し意向調査。残り約20世帯までがんばりました。としまち研会員の多くが思い出す場面です。

そんな意向調査中に、東松島市に対して被災者の組織化を提案。2012年9月には組織化のための具体的な動きを開始し、11月21日に「東矢本地区まちづくり整備協議会」の設立にこぎつけました。

協議会は、その後、部会、役員会、ワークショップ、視察などを繰り返し行い、被災者主体の新しいまちづくりの活動を行ってきました。当初からの具体的な取り組みについては、「おいらのまち」で3年近く報告を続けています。



入居式 テープカットの様子



「市営あおい住宅」住宅名板除幕

第I期入居が始まり、協議会の活動全体の方向性が見えてきたところで、そろそろ協議会の皆さんが自分たちで頑張る時期では、という思いがあります。協議会役員さんからも、「としまち研もいつまでもいるわけではないので、自分たちで頑張らないと…。」という意見が出て、ほとんどの役員が同意されていました。役員の方々と、これまでいろいろなお話をし、人間関係ができてきていますので、中には「もっと…。」という方もいましたが、今年度でとしまち研の役割を終えることになろうかと思えます。

「おいらのまち」読者の皆さま、来年1月号からは別のテーマでこの欄を担当していきたいと思えます。引き続き、としまち研と「おいらのまち」をよろしくお願いいたします。(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『故郷の思い出・望郷』としまち研 室伏啓三郎

北に富士、東に箱根山、西に愛鷹山に囲まれ、南に駿河湾を望む裾野市という所で、8人兄弟の6番目として私は生まれ育ちました。当時、家は田んぼの中の一軒家で、台風が来ると吹き飛ばされそうになり、玄関をみんなで押さえていたことを覚えています。

小中学生の頃は、田植えや稲刈り、山へ自然薯を採りに行ったり、キャディーなどをして小遣いを得ていました。貧しくはありましたが、親の苦勞も知らず、若い時代を気楽に過ごしておりました。

今は時々、老いた田舎の母(98歳)に会いに行き、昔の苦勞話をしたり、近所の人々の話を聞いたりして昔を懐かしんでいます。今日の裾野市は、第2東名も完成し、より交通の便も良くなり、風光明媚なおのびのびとした生活しやすい地域です。現在私は、杉並区で土地家屋調査士という仕事をしており、東京に来て早40数年、仕事に追われ、いつの間にか還暦も過ぎ、年々望郷の念は深まり、終の棲家を探し求めている昨今です。

※次号の『ひとりごと』は板井公作さんです。お楽しみに。

一木会ご報告 (原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です)

★公開勉強会 (第230回一木会/2014. 10. 2)

東京大学高齢社会総合研究機構の秋山弘子先生をお迎えし、日本大学経済学部7号館において、「長寿社会に生きる～人生90年時代～」をテーマに、柏市において実際に取り組んでいらっしゃるプロジェクトのお話を中心に、ご講義いただきました。

ひきこもりの高齢者をつくらないことを目標に、セカンドライフの就労の場を充実させることで、誰もが抱く老後の不安を金銭面でも精神面でも取り除くとともに、地域社会においては、労働力拡大や消費拡大、さらには高齢者の孤立問題・健康問題の改善をはかるという、市民にとっても自治体にとってもメリットあるプロジェクトで、とても興味深いものでした。

高齢者を雇ってあげるという感覚ではだめという先生のお言葉が私の心に深く残りました。それぞれがやりがいを持って仕事に取り組むことで、生きがいを持って社会参加し、少しでも長く、自分自身で自立した自分の生活を楽しみ、住み慣れたまちで最期を迎える。そのためには、個人の意識もさることながら、自治体側も様々なインフラを整備し、コミュニティ全体で大きな良い循環をつくっていくことの大切さを学びました。ご講義のあとは、活発な質疑応答もあり、70余名の皆様のご参加のもと、大盛況に終わりました。



(司会：大瀬明子)

★第231回一木会 (2014. 11. 6)

建築家の山本厚生氏に「『ひと裁ち折り』の魅力とこだわり」というテーマでお話と「ひと裁ち折り」のご指導をしていただきました。

一木会始めて以来初めて子どもさんも5人参加し、「先生のお話が早く終わらないかな。」という顔をしてお話を聞いており、大人にも負けないほど上手に「ひと裁ち折り」をしていました。



今後の一木会予定

- ★12月(12月11日)【第232回一木会】  
年末恒例“古今亭駿菊師匠落語会&忘年会”  
恒例の落語会は今年で13回目となりました。今年も…お楽しみがあるようです。  
※忘年会会場の予約の都合上、お申し込みは12月8日(月)までをお願いします。
- ★2015年1月(1月8日)【第233回一木会】  
税理士 丸野幸男氏 「相続税について」



川口アパートメント 50周年記念パーティを開催

としまち研で再生方策検討のお手伝いをしている川口アパートメント(文京区)では、10月25日(土)に築50周年を祝う「50周年記念パーティ」が開催され、新旧の区分所有者、入居者など、総勢約100名が集まる盛大な会となりました。

参加者のスピーチでは、「当初は数少ないアパートメントだった」、「以前、敷地内にあったプールやレストランに自然と住民が集まって輪ができて楽しかった」など50年間の思い出深いエピソードが次々と紹介されました。ロビーには懐かしい写真が展示され、竣工当初のパンフレットも土産として配られるなど、川口アパートメントの歴史をあらためて知ることができる貴重な機会となりました。



50周年記念パーティの様子

再生の検討では、11月15日(土)に「建物を見て『現在と未来』を考える」をテーマに、実際に建物の老朽化の実状を皆で見回し、意見交換を行いました。今後、個別面談を行っていくこととなります。

(としまち研事務局 五十嵐敦子)

「羽根木ガーデンテラス」館銘板

「コーポラティブハウス羽根木公園」改め『羽根木ガーデンテラス』が竣工しました。

この場所は、日本の「白鳥の湖」発祥の地でもあり、その記念碑には「白鳥の羽」が施されています。

館銘板では、この「白鳥の羽」をシンボルマークにお借りしました。合わせて19家族を象徴する19の文字で「HANEKI GARDEN TERRACE」の口



完成した館銘板



館銘板作成作業風景：現場事務所にて

ゴタイプを組み合わせて、館銘板がエントランスに設置されました。パレエダンサーたちが研鑽を重ね高められた空間に、新たに19の物語が書き加えられていくようです。歴史ある場所を共有し継承していける喜びもあります。

まもなく12月。待ち遠しかった「羽根木ガーデンテラス」での生活が始まります。しかし未だにその実感はなく、2年間に渡り建設を支えていただいた、としまち研と設計士さん、不燃公社さん、松井建設さんをはじめ現場の方々とのお付き合いが終わることへの、センチメンタルな気分の方が大きく、できればもう一回、組合設立からやってみようという野望を憶えているところです。

(コーポラティブハウス羽根木公園建設組合 中西純)

ちよだマンション・カフェに参加して

11月15日(土)は麹町地区、22日(土)には神田地区の2回にわたり、(公財)まちみらい千代田と千代田区が主催する「ちよだマンション・カフェ」でお話をする機会をいただきました。

この催しは、千代田区のマンションにお住まいの方に向け、マンション生活での困りごとや相談に、区の担当者等がアドバイスをしたり、他のマンションとの情報交換や町会を含めた交流の場とすることを目的に今回から開催されたとのことでした。

私は、「知っておこう! マンション防災～東日本大震災からの教訓～」というテーマでの30分程度のお話をしましたが、終了後、参加された方々はいくつかのテーブルに分かれ、用意されたコーヒーやお菓子等を楽しみながら、フリーディスカッションをするというユニークな試みもありました。

私もあるテーブルでの会話に参加させていただきましたが、当日の話の内容について、マンションや家庭での地震への備え、マンション管理組合や町会活動での悩み、知らなかった行政の活動等、様々な立場の方から多方面にわたるお話を聞くことができ、とても有意義なひとときとなりました。

今後も定期的開催され、次回は来年の年明けに予定されているとのことですので、ご都合のつく方は、是非、参加してみたいかがでしょうか。

(としまち研理事 市野恵司)



グループディスカッションの様子

ジークレフ駒場 再建マンション名決定!!

もう間もなく上棟を迎えるジークレフ駒場マンション建替え事業ですが、10月の理事会にて、再建マンションの建物名称が『ヴィーナパーク富ヶ谷』に決定しました。

参加組合員である不燃公社さんを含め、建替組合の構成員は10と少ないのですが、建物名称に地名を入れるかどうか、入れるのであれば「駒場東大前」と「富ヶ谷」のどちらがよいか。提案総数25案の中から投票形式で数点に絞り込み、近隣に同じ名称はないか、商標登録等に抵触しないかを調べた後、投票結果に基づき結果発表となりましたが、「ピン!」と来ないということで、再度皆さんで新たな案を検討し、これまでにしていなかった『ヴィーナパーク富ヶ谷』という新しい名前が登場し、決定となりました。

なお、不燃公社さんが取得している住戸について、『ヴィーナパーク富ヶ谷』マンション販売のホームページができました。新築マンションをお探しの方でご興味ある方は、ぜひ、

『ヴィーナパーク富ヶ谷』公式ホームページ (<http://www.yoyogi-premium.com/>)

をご覧ください。

(としまち研事務局 飛澤玲奈)